

令和 4 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目（Ⅰ）

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 氏名、受験番号を「令和4年度 小学校教員資格認定試験 解答カード」（以下、「解答カード」という。）の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号をマークしてください。
4. 「解答カード」の中で、特に受験番号の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て「解答カード」の解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず黒鉛筆(HB)を使用して、枠内にきちんと記入してください。

訂正する時は、プラスチック製消しゴムで完全に消してください。また、「解答カード」を曲げたり折ったりしてはいけません。

「解答カード」が汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に「解答カード」の交換を申し出てください。

7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 70分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

[マーク例]

(よい例) ●

(悪い例) ○~~×~~ ○~~○~~ ○

問 1 次の各文は、日本の教育史上著名な人物についての説明である。誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 貝原益軒の『和俗童子訓』の「予めする」という考え方は、子供は白紙のような心の状態であり、人の善悪は生得的なものではなく、生後の環境や教え方によって決まるため、早い段階から「予め」善く教えよという意味である。
- イ 明治6年にアメリカから帰国した森有礼は、西洋の学術団体・学会に似た組織を日本でも作ろうと志し、福沢諭吉らと相談して、同年9月に明六社を設立した。その名称は明治6年に設立されたことによる。
- ウ 密航に失敗して野山獄に投獄された吉田松陰は、勉学と著述に専念すると同時に獄中の教育活動に取り組んだ。その教育は、すべての人間の性は善であるとし、教えるという行為によってのみ教育を行うのではなく、共に学ぶという態度に貫かれ、学習サークルとして出発した。
- エ 昌平坂学問所教授だった井上毅は、朱子学者であったが、幕末に英国に留学し、西洋の思想や学問を摂取し、英国の発展の基礎にキリスト教信仰と自由の精神を認め自らキリスト教に入信し、のちに教育勅語の草案作りに取り組んだ。

問 2 次の各文は、欧米及び日本の教育の歴史上重要な出来事について述べたものである。これらの出来事を年代順に並べたものとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① ヨーロッパの大学の起源の一つであるボローニャ大学が創設された。
- ② フランス革命以後、フランス公教育の基礎的理念をコンドルセ(Condorcet, M. J. A. N.)が構築し、その後の近代公教育制度に思想的な影響を与えた。
- ③ 閑谷学校は江戸時代に岡山藩主池田光政によって創建され、庶民にも門戸が開かれた学校である。
- ④ ニューヨーク州オスウィーゴー市のオスウィーゴー州立師範学校は、アメリカにおける新教育運動の拠点として学校の改革及び教員養成の改革に取り組んだ。

ア ① → ② → ③ → ④

イ ② → ③ → ① → ④

ウ ① → ③ → ② → ④

エ ④ → ① → ③ → ②

問 3 次の各文は、我が国の学校教育に大きな影響を与えた人物について述べたものである。誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 及川平治は、教育の主体である児童固有の能力(能力不同)に注目し、知識を与えるよりもその探究法(動機)を工夫させるために動的教育(機能的教育)を重視した。

イ 樋口勘次郎の学習理論は、「生活から出発して生活によって生活の向上を図る」というように、生活主義に立って自己の社会的創造を進め、「独自学習→相互学習→独自学習」の図式をたどる合科学習を基調とするものであった。

ウ 手塚岸衛は、児童の自学・自治・自育のために画一的・一斉主義を排して学級自治会を組織し、試験や通知簿も廃し、高等科男子には自由学習時間を特設した。また、大正13年には雑誌『自由教育』を創刊した。

エ 山本鼎は、留学したフランスやロシアでの経験から、手本に忠実であることを求めた我が国の図画教育を刷新して、児童の自由な創造的表現力を育てる自由画運動を展開した。

問 4 学校運営協議会制度に関する説明として誤っているものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア コミュニティ・スクールとは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号)第47条の5に規定する保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」を置く学校のことである。

イ 平成29年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、教育委員会は所管の学校ごとに学校運営協議会を置かなければならないとされ、現在、教育委員会には学校運営協議会の設置義務が課されている。

ウ 学校運営協議会の委員は、保護者や地域住民等から教育委員会が任命する。

エ 学校運営協議会は、教職員の任用に関して教育委員会に対して意見を述べることができる。

問 5 次の各文は、「教育基本法」(平成 18 年法律第 120 号)の一部を抜粋したものである。下線部の内容に誤りのあるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。
- イ 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって修学が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。
- ウ 父母その他の保護者は、その保護する子に、別に法律で定めるところにより、普通教育を受けさせる義務を負う。
- エ 幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることにかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他適当な方法によって、その振興に努めなければならない。

問 6 次の各文は、「地方公務員法」(昭和 25 年法律第 261 号)の一部を抜粋したものである。下線部の内容に誤りのあるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア すべて職員は、全体の奉仕者として国民の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。
- イ 職員は、条例の定めるところにより、服務の宣誓をしなければならない。
- ウ 職員は、その職務を遂行するに当たって、法令、条例、地方公共団体の規則及び地方公共団体の機関の定める規程に従い、且つ、上司の職務上の命令に忠実に従わなければならない。
- エ 職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

問 7 次の各文は、「学校教育の情報化の推進に関する法律」(令和元年法律第 47 号)の一部を抜粋したものである。文中の ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

第 1 条 この法律は、① の発展に伴い、学校における情報通信技術の活用により学校教育が直面する課題の解決及び学校教育の一層の充実を図ることが重要となっていることに鑑み、全ての児童生徒がその状況に応じて効果的に教育を受けることができる環境の整備を図るため、学校教育の情報化の推進に関し、基本理念を定め、国、地方公共団体等の責務を明らかにし、及び学校教育の情報化の推進に関する計画の策定その他の必要な事項を定めることにより、学校教育の情報化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって次代の社会を担う児童生徒の育成に資することを目的とする。

第 3 条 学校教育の情報化の推進は、情報通信技術の特性を生かして、個々の児童生徒の② 等に応じた教育、③ のある教育(児童生徒の④ な学習を促す教育をいう。)等が学校の教員による適切な指導を通じて行われることにより、各教科等の指導等において、情報及び情報手段を④ に選択し、及びこれを活用する能力の体系的な育成その他の知識及び技能の習得等(心身の発達に応じて、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育み、④ に学習に取り組む態度を養うことをいう。)が効果的に図られるよう行われなければならない。

	①	②	③	④
ア	デジタル社会	個別最適な学び	多様性	主体的
イ	Society 5.0 時代	個別最適な学び	多様性	自主的
ウ	デジタル社会	能力、特性	双方向性	主体的
エ	Society 5.0 時代	能力、特性	双方向性	自主的

問 8 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成 29 年文部科学省告示第 63 号)の「第 1 章 総則 第 2 教育課程の編成」の「2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成」の一部である。文中の ① ~ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(1) 各学校においては、児童の ① を考慮し、言語能力、情報活用能力(情報モラルを含む。), 問題発見・解決能力等の ② となる資質・能力を育成していくことができるよう、③ を生かし、④ から教育課程の編成を図るものとする。

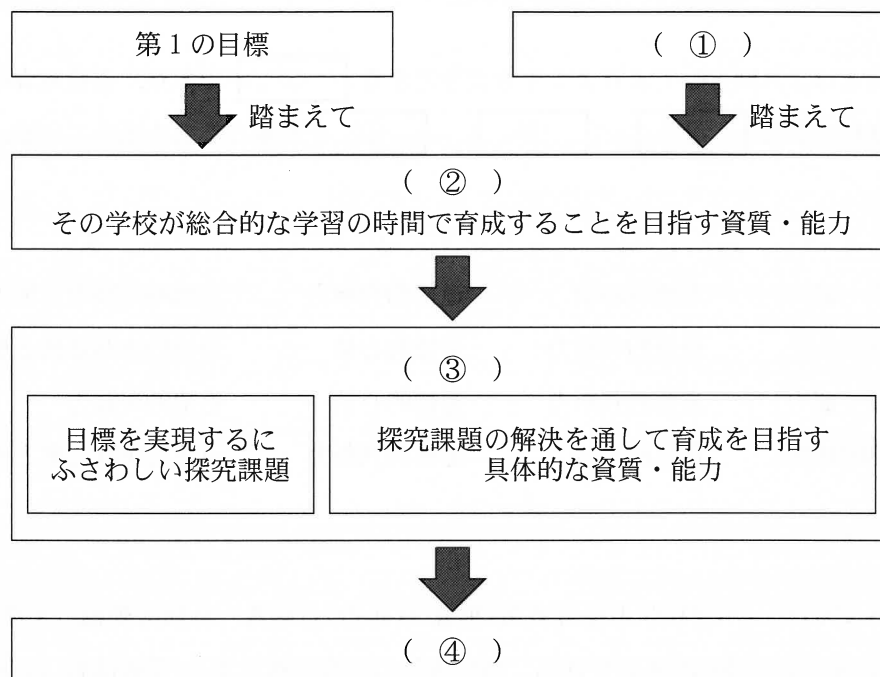
	①	②	③	④
ア	学習の基盤	発達の段階	教科等横断的な視点	各教科等の特質
イ	学習の基盤	発達の段階	各教科等の特質	教科等横断的な視点
ウ	発達の段階	学習の基盤	教科等横断的な視点	各教科等の特質
エ	発達の段階	学習の基盤	各教科等の特質	教科等横断的な視点

問 9 次の年表は、学習指導要領の改訂についてまとめたものである。表中の ① ~ ⑤ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア~エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

昭和 33~35 年 改訂	教育課程の基準としての性格の明確化 (① の新設, 基礎学力の充実, 科学技術教育の向上等) (系統的な学習を重視)
昭和 43~45 年 改訂	教育内容の一層の向上(「教育内容の現代化」) (時代の進展に対応した教育内容の導入) (算数における集合の導入等)
昭和 52~53 年 改訂	ゆとりある充実した学校生活の実現=学習負担の適正化 (各教科等の目標・内容を中核的事項に絞る)
平成元年 改訂	社会の変化に自ら対応できる心豊かな人間の育成 (② の新設, 道徳教育の充実)
平成 10~11 年 改訂	基礎・基本を確実に身に付けさせ, 自ら学び自ら考える力などの[生きる力]の育成 (教育内容の厳選, 「 ③ 」の新設)
平成 20~21 年 改訂	[生きる力]の育成, 基礎的・基本的な知識・技能の習得, 思考力・判断力・表現力等の育成のバランス (授業時数の増, 指導内容の充実, 小学校 ④ の導入)
平成 29~30 年 改訂	[生きる力]の育成を目指し資質・能力を三つの柱(※)で整理, 社会に開かれた教育課程の実現 (※) 「知識及び技能」, 「思考力, 判断力, 表現力等」, 「学びに向かう力, 人間性等」 (「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の視点からの授業改善, カリキュラム・マネジメントの推進, 小学校 ⑤ の新設等)

	①	②	③	④	⑤
ア	道徳の時間	生活科	総合的な学習の時間	外国語活動	外国語科
イ	社会科	クラブ活動	特別の教科・道徳	生活科	探求の時間
ウ	道徳の時間	クラブ活動	生活科	特別の教科・道徳	探求の時間
エ	社会科	生活科	総合的な学習の時間	外国語活動	外国語科

問10 次の図は、総合的な学習の時間の目標と内容と学習活動の関係を示したものである。空欄の①～④に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。



	①	②	③	④
ア	各学校における 教育目標	各学校において 定める目標	各学校において 定める内容	学習活動(単元)
イ	各学校において 定める目標	各学校において 定める内容	学習活動(単元)	各学校における 教育目標
ウ	各学校において 定める内容	学習活動(単元)	各学校における 教育目標	各学校において 定める目標
エ	学習活動(単元)	各学校における 教育目標	各学校において 定める目標	各学校において 定める内容

問11 次の文は、『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別の教科 道徳編』(平成29年7月文部科学省)の「第2章 道徳教育の目標 第2節 道徳科の目標」の一部である。文中の①～④に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

道徳性とは、人間としてよりよく生きようとする①であり、道徳教育は道徳性を構成する諸様相である②、③、④を養うことを求めている。

	①	②	③	④
ア	資質・能力	道徳的心情	道徳的判断力	道徳的实践力と態度
イ	人格的特性	道徳的判断力	道徳的心情	道徳的实践意欲と態度
ウ	資質・能力	道徳的判断力	道徳的心情	道徳的实践力
エ	人格的特性	道徳的心情	道徳的判断力	道徳的实践意欲と態度

問12 次の各文章は、『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』(平成29年7月文部科学省)に基づいて述べたものである。特別活動の内容を構成する「学級活動」のうち、「ウ 学校における多様な集団の生活の向上」の内容を解説した文章として正しいものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア この内容は、児童会やクラブの集団、学校行事に取り組む各種の集団、日常的に異年齢交流を行う集団、通学を共にする集団など学級や学年の枠を超えた多様な集団における活動及び学校行事を通して学校生活の向上を図るために、学級としての提案や取組を話し合っ決めて決める活動であり、学級活動と児童会活動や学校行事をつなぐ活動であるとも言える。

イ この内容は、学級の生活の充実や向上を図るために必要とされる学級内の組織づくりや仕事の分担などを、教師の適切な指導の下で児童自身が見だし、協力しながら責任をもって行う活動である。

ウ この内容は、児童が学級や学校における生活の充実と向上を図るために、そこで生じる人間関係や生活上の様々な問題について、協力して自主的、実践的に解決していこうとする活動である。学級や学校での生活をよりよくするための課題を児童が見だし、「学級会」等で話し合い、合意形成を図り実践し、振り返ることまでが主な内容となる。

エ この内容は、児童が、児童会において主体的に組織をつくり、役割を分担し、活動の計画を立てたり、学校全体の生活の課題を見だし、それを解決するために話し合い、合意形成を図り実践したりするものである。

問13 次の文章は、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月文部科学省)からの抜粋である。文章中の ① ～ ④ に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

学校教育は、障害のある子供の ① を目指した取組を含め、「共生社会」の形成に向けて、重要な役割を果たすことが求められている。そのためにも「共生社会」の形成に向けた ② 教育システム構築のための特別支援教育の推進が必要とされている。

② 教育システムの構築のためには、障害のある子供と障害のない子供が、可能な限り同じ場で共に学ぶことを目指すべきであり、その際には、それぞれの子供が、授業内容を理解し、学習活動に参加している実感・達成感をもちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうかという最も本質的な視点に立つことが重要である。

そのための環境整備として、子供一人一人の ① を見据えて、その時点での教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みを整備することが重要である。このため、小中学校等における通常の学級、通級による指導、特別支援学級や、特別支援学校といった、連続性のある「③」を用意していくことが必要である。

教育的ニーズとは、子供一人一人の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等(以下「障害の状態等」という。)を把握して、具体的にどのような特別な指導内容や教育上の ④ を含む支援の内容が必要とされるかということを検討することで整理されるものである。そして、こうして把握・整理した、子供一人一人の障害の状態等や教育的ニーズ、本人及び保護者の意見、教育学、医学、心理学等専門的見地からの意見、学校や地域の状況等を踏まえた総合的な観点から、就学先の学校や学びの場を判断することが必要である。

	①	②	③	④
ア	援助と特別な指導	インテグレーション	教育支援の場	配慮事項
イ	自立と社会参加	インクルーシブ	多様な学びの場	合理的配慮
ウ	援助と特別な指導	インクルーシブ	教育支援の場	合理的配慮
エ	自立と社会参加	インテグレーション	多様な学びの場	配慮事項

問14 「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」(平成29年3月文部科学省)に示されている内容として誤りのあるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 学校の設置者及び学校は、いじめを受けた児童生徒やその保護者のいじめの事実関係を明らかにしたい、何があったのかを知りたいという切実な思いを理解し、対応に当たること。
- イ いじめの重大事態の定義は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」、 「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」とされている。
- ウ 学校は、重大事態が発生した場合(いじめにより重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。)、速やかに学校の設置者を通じて、地方公共団体の長等まで重大事態が発生した旨を報告する義務が法律上定められている。
- エ 重大事態の調査は、いじめの事実の全容解明、当該いじめの事案への対処及び同種の事案の再発防止が目的であるとともに、民事・刑事上の責任追及やその他の争訟等への対応を直接の目的とするものであること。

問15 次の各文は、学校における教育相談について述べたものである。正しいものの組合せを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ① 教育相談はすべての児童生徒を対象にするものである。
- ② 教育相談は、教育相談担当教員や養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーといった特別な知識と技法を身に付けた専門家のみが行うものである。
- ③ 教育相談は、あらゆる教育活動を通して行われるものであるが、定期面談や呼出し面談等は教育相談の大事な場面である。
- ④ 課題のある事例を個別に深く検討するケース会議では、対象となる児童生徒のアセスメント(見立て)やプランニング(手立て)が行われる。
- ⑤ 保護者の持つ価値観は教員や学校が重要視するものと大きく異なる場合があるため、教育相談においては保護者との面接は避けた方がよい。

ア ①②③

イ ①③④

ウ ②③⑤

エ ③④⑤

問16 コールバーグ(Kohlberg, L.)の示した道徳性の発達に関する理論と研究方法の説明について、正しいものはどれか。次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア コールバーグは、道徳性の発達に関して三つの水準と六つの段階を示したが、それらの間に順序性は見られないとした。
- イ コールバーグは、道徳性の発達を条件付けによる行動変容であると考えた。
- ウ ギリガン(Gilligan, C.)は、コールバーグの示した道徳性の発達を検討し、男性と女性のどちらも同様の発達の過程を示すことを明らかにした。
- エ コールバーグは、道徳的価値の対立するストーリーを聞かせ、主人公はどうすべきかと、その判断理由を問う方法で研究を行った。

問17 三隅二不二の提唱したリーダーシップ理論の説明として、正しいものはどれか。次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア P機能は Personal 機能の略であり、個々の集団成員の人格の向上を指向する機能である。
- イ M機能は Maintenance 機能の略であり、リーダーの集団維持能力に関する機能である。
- ウ リーダーのタイプは、その機能の高低により、Pm型、Mp型の2つに分けられる。
- エ 教師のリーダーシップは、P機能の方がM機能よりも学級集団のよい雰囲気づくりに大きく影響する。

問18 エリクソン(Erikson, E. H.)の提唱した発達段階とその時期に優勢となる心理・社会的危機について、正しい組合せはどれか。次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 乳児期 —— 基本的信頼 対 基本的不信
- イ 幼児期初期 —— 勤勉性 対 劣等感
- ウ 学童期 —— 同一性 対 同一性混乱
- エ 青年期 —— 自律性 対 恥・疑惑

問19 教育実践の過程において、それぞれの段階とその時期に関係の深い評価について、正しい組合せはどれか。次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 計画(Plan)段階 —— 総括的評価
- イ 実行(Do)段階 —— 形成的評価
- ウ 評価(Check)段階 —— 診断的評価
- エ 改善(Action)段階 —— 相対評価

問20 次の文章中の下線部の略称として正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

近年、教員の働き方改革が重要な政策課題として取り上げられている。中央教育審議会は、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」(平成31年1月)を答申しており、新たな学校教育の課題達成に向けて、そこで働く教員の勤務環境、指導環境の改善が喫緊の課題であるとの認識を示している。

こうした課題認識に至った内外の要因の中で、とりわけ大きなインパクトを与えた調査結果がある。2013年に行われた加盟国等34か国の教員を対象とした OECDによる国際調査である。

我が国の教員は、課外活動の指導や事務作業に多くの時間を費やし、調査参加国中で勤務時間が最も長いという結果が出るなど、教員の勤務負担の軽減が課題として浮き彫りになった。

- ア PISA
- イ STEAM
- ウ TALIS
- エ TIMSS